

年末年始の伝統行事



④



⑤

①佐々木祭

志佐町池成地区に約350年前から伝わる佐々木祭。佐々木様に仕えた家臣の子孫にあたる同地区5世帯で毎年持ち回りして開催しています。佐々木様の命日の12月24日、当番の深江國男さん宅に集まり、大杯で酒1升を回し飲みしながら、霊を慰め親睦を深めました。

②もぐら打ち

家内安全や無病息災を祈願するもぐら打ち。星鹿地区では1月6日に小中学生12人が集まり、地区内の約120戸を2班に分かれて回りました。

③鬼火たき

1月7日に調川町松山田地区で、久保川志丸くぼかわ しまるさんが作った高さ約6.5尺、幅約5尺のジャンボ鬼小屋に地域住民約60人が集まり、持ち寄った門松などを鬼小屋に入れ、鬼火たきが行われました。

④百手講

志佐町庄野地区の王嶋神社で1月8日、百手講が行われました。的に当たった矢の数で今年の豊凶を占うもので、市の無形民俗文化財に指定されています。2人の射手が50本の矢を交互に放ち、2本の矢が命中しました。

⑤大般若

志佐町里地区で1月11日に還暦と厄入りを迎えた地区住民14人が、経典が入った箱を担ぎ「だいはんにゃー」と掛け声を掛けながら地区内の約200戸を回りました。地区の住民たちは経箱の下をくぐり無病息災を願いました。



①



②



③

Winter Holiday — 冬休み —



クリスティー・マツカワ
Christie Matsukawa
アメリカ出身

こんにちは。皆さんは、年末、年始に楽しい冬休みを過ごしましたか？私は、アメリカの家族と一緒に過ごしました。

私は、カリフォルニア州のロサンゼルス出身です。アメリカも今冬ですが、ロサンゼルスは松浦ほど寒くはありません。冬でも最高気温が18℃、最低温度も8℃ぐらいです。アメリカでは、クリスマスは祝日になっているので、多くの人々が仕事を休んで家族と共に過ごし、ごちそうを食べます。私の家族と親戚は、日本人の子孫なので、私たちは日本の料理とアメリカの料理を少しずつ食べます。バーベキューのステーキや骨付き肉、ローストベジタブル、巻き寿司、コンスープ、サーモン、サラダ、たくさんのオードブルなどを食べました。デザートにはクリスマス・チョコレートケーキやチーズケーキ、シュークリームなどを食べました。食事の後は、話をしたり、パズルをしたり、一緒に写真を撮ったりして過ごしました。とても、

温かい雰囲気でのクリスマスでした。数日後は、また同じようにしてお正月を祝いました。私の家族は日本人なので、お正月はおせち料理もありましたが、母には独自の伝統料理があって、私は年に一度それを食べることを楽しみにしています。しかし、おせちだけでは足りないなので、私のいとこの家族もたくさんの料理を作ります。



年末年始は、家族で集まって食べて、笑って、遊ぶ特別な時です。

皆さん、今年もよろしくお祈りします。



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『小泉今日子書評集』
小泉今日子／著 中央公論新社

元アイドル歌手で現在も舞台・映画など幅広く活躍中の小泉今日子さん。彼女が読売新聞の読書委員を務めた10年間に読売新聞の読書欄に掲載された書評97冊分が収録された、いわゆる「読書案内」です。自分の批評や感想と比較してはいかかでしょうか。



『集英社版・学習まんが世界の伝記
NEXT ヘレン・ケラー
世界に希望の光をあたえた奇跡の人』
海野そら太／漫画
登坂恵里香／シナリオ 集英社

「見えない、聞こえない、話せない」という三重苦の大きな障害をのりこえた奇跡の女性、ヘレン・ケラー。サリバン先生に支えられながら、障害を持つ人びとのために力を尽くした彼女の人生を漫画で紹介します。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



志佐町里免の中川美結ちゃん（11歳）と真彩ちゃん（7歳）

【お気に入りの本】

『一期一会 世界一の親友。』 学研プラス

『くすのきだんちへおひっこし』 武鹿悦子／作 末崎茂樹／絵 ひかりのくに

【お母さんからひとこと】

部活を始め、昔のように本を読むという機会が減ったのですが、小さいころから図書館へ行くと時間が足りないくらい集中して本を読んでいた2人。おはなし会にもよく参加していました。真彩は「バムとケロ」シリーズが大好きです。忙しい毎日ですが、その中でもたくさんの本に出合っていたらと思います。

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館をお待ちしています！